

令和8年用きゅうり病害虫防除基準

発行: J A さがえ西村山
さがえ西村山野菜振興協議会

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

【害虫防除】

作業	R A C コード	薬剤名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫						注意事項	
			倍率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	アザミ ウマ類	ア布拉 ムシ類	コナジ ラミ類	ハモグリ バエ類	ウリノメ イガ	ウリハムシ	ハダニ類	
定植前	1 B	ネマキック粒剤	15~20kg/10a	全面土壤混和	定植前	1回								●登録: ネコブセンチュウ
定植時	28	ペリマーク S C	400株当たり25ml	400株当たり10~20ℓ 灌注 (1株当たり25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	1回	●	●	●	●				
	4 A	ダントツ粒剤	2g/株	植穴処理土壤混和	定植時	1回	ミナミ キイロ ●	●	●					※クロチアニジンを含む(ダントツ) 4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壤混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内) ●登録: カメムシ類
生育期	4 A	ダントツ水溶剤	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	ミナミ キイロ ●	●	●					
	4 A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	●	●	●		●			※抵抗性害虫出現防止のため連用を避ける。 (ダントツ、モスピラン、スタークル)
			4,000倍	100~300ℓ							●			
	4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内	●	●	●			●		●登録: カメムシ類
	4 C	トランスフォームフロアブル	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内		●	●					
	9 B	コルト顆粒水和剤	4,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内		●	●					
	29	ウララ D F	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内		●	●					
	39 21 A	ハチハチ乳剤	1,000倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内	●	●	●					
	5	ディアナ S C	2,500倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内	●		●	●	●			
	28	ヨーバルフロアブル	2,500倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	●	●	●	●	●	●		●登録: ハスモンヨトウ
	13	コテツフロアブル	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	ミナミ ●	●			●	●	●	
	30	グレーシア乳剤	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内	●		●	●	●		●	●登録: ハスモンヨトウ
	6	コロマイト乳剤	1,000倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内			●	●			●	●登録: チャノホコリダニ
	20 B	カネマイトフロアブル	1,000倍	150~300ℓ	前日まで	1回							●	
	25 A	スターマイトフロアブル	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	1回							●	
	未分類	エコビタ液剤	100倍	100~300ℓ	前日まで	—		●	●				●	●登録: うどんこ病 ※単用散布する。

病害防除【殺菌剤】

作業	R A C コード	薬剤名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫						注意事項	
			倍率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	べと病	炭疽病	褐斑病	黒星病	菌核病	つる枯病	うどん こ病	
育苗期	M 4	オーソサイド水和剤80	800倍	2L/m ² 灌注	は種後2~3葉期まで	5回以内								●登録: 苗立枯病
			600倍	100~300ℓ			●	●	●			●		※キャプタンを含む(オーソサイド) 総使用回数は5回以内(種子粉衣は1回以内)
生育期	24 M 1	カスミンボルドー	1,000倍	100~300ℓ	前日まで	5回以内	●						●	●登録: 斑点細菌病 ※散布する時は薬害軽減のため必ずクレフノン100~200倍を加用するとともに、幼苗期、高温時、収穫間際の散布は避ける。
	M 3 U N	ジマンダイセン水和剤	600倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	●	●	●	●		●		●登録: 斑点細菌病、疫病
	3 M 3 U N	テーク水和剤	600倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	●	●	●			●	●	※マンゼブを含む(ジマンダイセン、テーク) 総使用回数は3回以内 ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	M 5	ダコニール1000	1,000倍	100~300ℓ	前日まで	12回以内	●	●	●	●		●	●	※T P Nを含む(ダコニール、プロポーズ) 総使用回数は14回以内 (土壤灌注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計12回以内) ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	M 5 40	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	●		●	●			●	
	M 7	ペルクートフロアブル	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	7回以内	●	●	●	●		●	●	※イミノクタジンアルベシル酸塩を含む(ダイアメリット、ペルクート) 総使用回数は7回以内 ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	M 7 19	ダイアメリットD F	1,000倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内	●	●		●		●	●	※チオファネートメチルを含む(トップジンM、ゲッター) 総使用回数は6回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は5回以内) ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	10 1	ゲッター水和剤	1,500倍	100~300ℓ	前日まで	5回以内	●	●		●			●	
	7	アフェットフロアブル	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内				●		●	●	
	9	フルピカフロアブル	2,000倍	100~300ℓ	前日まで	4回以内			●			●	●	
	11	ストロビーフロアブル	3,000倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	●	●	●			●		※浸透性を高める効果のある着色剤を混用すると薬害を生じる場合がある。 ※【ストロビルリン系】耐性菌出現防止のため総使用回数は2回以内とする。
	21	ランマンフロアブル	1,000倍	150~300ℓ	前日まで	4回以内	●							※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	21 49	ゾーベックエンテクタ S E	4,000倍	100~300ℓ	前日まで	2回以内	●							
	45 40	ザンプロDMフロアブル	1,500倍	100~300ℓ	前日まで	3回以内	●							